

追加予算の件（多文化キッズサロン設置に関する整備費、運用費の追加）

(1) 追加事業計画

1. 予算の概要

東京都の「日本語を母語としない子供への支援」の施策の一つである、日本語を母語としない子どもが集い、交流する地域の居場所である、「多文化キッズサロン」の設置を、八王子市として進める事になった。

従来の「学習支援」活動を発展させて、下期から「多文化キッズサロン」として活動する。

多文化キッズサロンは、「学習」「相談」「交流」の3つの機能を保有するものと定義されている。

各機能の例として、「学習」は日本語学習支援、教科学習支援、「相談」は進路・進学相談会の開催、「交流」は地域との交流を目的としたイベントの開催である。

2. 予算の内容

(1) 整備費：1,295千円（今年度限り）

市民プラザ会議室、国際交流コーナー（サポートデスク）と事務室を拡充、整備するための、書庫、カタログスタンド、カウンター拡張備品、平机、携帯電話、ノートパソコンの購入費用。

(2) 運営費：312千円（下期6か月分、次年度以降継続）

学習支援スタッフ、ボランティアの謝礼・交通費、会場借用料、業務管理費、一般管理費。

3. 具体的な活動内容

(1) 学習

- ・日本語学習支援教室の実施・・・教科学習支援教室と一体的に実施。会場費・謝金を見込む。
- ・教科学習支援教室の拡充・・・既存活動に実施回数・人員体制を充実させる。
- ・高校受験対策教室の実施・・・教科学習支援教室と一体的に実施。別途受験直前期に実施。
- ・不就学・不登校児や未就学児に向けた就学促進支援教室の実施・・・学習支援教室と一体的に実施。

(2) 相談

- ・学校との調整役の配置・・・学習支援委員会スタッフが担う。学習、相談実施およびその前後に稼働。随時調整があることを想定している。
- ・専門家による相談会の開催・・・11月頃に1回実施（社会福祉士または臨床心理士等）
- ・進路・進学相談会の充実・・・多言語高校進学ガイダンス実施後に、都合で来られなかった生徒、追加で相談が必要な生徒を対象に個別フォローを実施。

(3) 交流

- ・地域との交流を目的としたイベントの開催・・・国際理解教育の子供向けワークショップを実施。